



保護者の皆様、 大変お世話になりました



28年度も、本日修了式を無事終えました。1年生から5年生の児童一人一人は立派な態度で修了式に臨み、教室で担任より修了証を受けました。

今年度、保護者の皆様には、PTA活動、そして朝の交通指導等のご協力をいただき、大変感謝申し上げます。学校の教育活動は、保護者の皆様のご理解ご協力があればこそ成り立つものと日々感じながら、教育活動を進めてきました。

家庭や地域の宝である子供を預かる学校として、児童一人一人を伸ばすことと同時に、社会の一員として成長させることが学校の役割と考えています。「挨拶する」「ルールを守る」「他者とのより良い関係を築く」など、児童に身に付けさせていきたいことです。

来年度も、本校へのご支援ご協力につきまして、よろしくお願いたします。



本日の修了式で話した校長の言葉（一部）

人間の心の中には、鏡があります。「心の鏡」といいます。この「心の鏡」は、みなさんが生まれてくる時に神様からいただくもので、人間として生きていくためにとても大切なものです。

人を傷つけたり、いじめや差別をしたり、ウソをついたり、ずるいことをしようしたりすると、その「心の鏡」は曇ってしまいます。だから、いつも「心の鏡」が曇らないように気を付けないといけません。

人を助けたり、どんなことにも一生懸命に努力したり、誰にでもやさしい気持ちで接したりすれば、「心の鏡」はピカピカに輝いていきます。

この春休みは「心の鏡」をピカピカに磨き、新しい学年に進級してください。そうすれば4月からの新しい学年が、すばらしい1年になると思います。



修了式の中では、代表の1年生が、1年間で頑張ったことや、2年生になったら頑張りたいことを作文を読んで発表しました。

須永さんは、「自分の考えをしっかりと発表できるようにしたい」、成澤君は、「字を上手に書けるようにしたい」と、意気込みを立派に発表してくれました。

この二人だけでなく、誰もが新学年に向けての目標をしっかりとって4月を迎えてほしいと思います。神明っ子、頑張れ！！